

かけはし



今号の「倫理の達人」

学校法人北日本高等学院星北高等学園 (写真①②)
宮古市倫理法人会事務局 (写真③④)

岩手県倫理法人会 HP



第4期 岩手倫理経営塾開講……	2
おらほの単会自慢……	3
倫理の達人……	4
スポットライト……	5
盛岡みなみ倫理法人会 創立20周年記念式典開催……	6
岩手県倫理法人会「講演会」開催報告『常識のボーダーを超える。』……	6
女性委員会『ランチセミナー』のご案内！……	7
ぶらり寄りみち散歩道……	7
万人幸福の菜／倫理との出会いと今……	8

第4期 岩手 倫理経営塾 開講

2月26日(土)、「第4期岩手倫理経営塾」の開講式が、遠野市の“あえりあ遠野”で、塾生・ご来賓・スタッフ、総勢50名が参加し、コロナ感染対策を行って開催されました。

冒頭、山内道治塾頭から、「半年間の塾、殻を破ったもの勝ち」と激励の式辞がありました。また、ご来賓を代表して、宮城倫理経営塾の野口敬志塾頭、法人局三田望法人アドバイザーより祝辞を頂戴いたしました。及川元一会長が挨拶で「ほかの行事と違って塾での挨拶は緊張感を覚える」と述べられた通り、7名の塾生だけでなく講師・スタッフを含め、会場に緊張感がみなぎっていました。

続いての挨拶指導では、塾生7名の息が合うまで繰り返し行われました。講師陣の真剣な指導から、この挨拶への意識が、“半年間のチームとして”いかに重要かが伝わってきました。その後、オリエンテーションが始まり、塾生が順番に自己紹介と、受講動機と決意の発表を行いました。そして、講義、グループワークへと入っていきました。

いよいよ、26日・27日の2日間の「岩手倫理経営塾第1講」がスタートしました。7月までの全6講。第3講は富士高原研修所での開催を予定。コロナ感染拡大の場合も代替講座が用意されています。最終の第6講・卒塾式は7月16日。

塾生の皆様は素晴らしい成果を上げられることと思います。半年間、頑張ってください。(文責・岩手県倫理法人会 広報委員長 菊池忠彦)



及川会長 挨拶



山内塾頭 式辞

塾 生	所属単会
新居 克洋 (有限会社文化衛生社)	宮古市倫理法人会
高柳 純子 (株式会社街のほけん屋さん)	久慈市準倫理法人会
佐々木真人 (株式会社 J2B)	花巻市倫理法人会
吉田 伸一 (有限会社吉田塗装)	紫波・矢巾準倫理法人会
佐藤 美幸 (株式会社マッチングプロジェクト)	花巻市倫理法人会
伊藤 正治 (有限会社童夢)	北上市倫理法人会
佐々木幸人 (ナチュラルコム株式会社)	盛岡市倫理法人会



開講式



挨拶指導

おらほの 単会 自慢

一関市倫理法人会

一関を『もち』で 『もち』上げよう!!

一関の江戸時代から伝わる餅食文化と、その継承・発展に取り組む会員企業を「おらほの自慢」として取り上げます。

一関の餅食文化

一関の餅食文化の特徴は何といっても種類の多さです。江戸時代一関地方を治めていた伊達藩の命で、毎月1日と15日にもちをついて神様に供え、平安無事を祈り休息日とする習慣がありました。しかし、神様には白いもちを供え、貧しい農民たちはくず米に雑穀を混ぜた「しいなもち」という白くないもちを食べていたというのが現実。この「しいなもち」をなんとかおいしく食べようと工夫する中で、独自のもち食文化を開花させていったと伝わっています。定番に加え、沼エビ、じゅうね（エゴマ）、ふすべ（どじょうとすりおろしたゴボウを醤油ベースで味付けし唐辛子をかけていただく）等、現在300種以上もの食べ方があると言われています。また、もちフォンデュやピザもち、モッフル、もちパフェなど、江戸時代から現在、そして未来に向かって餅食文化が進化を続けています。一関市観光協会HPにはそのレシピを記したもちデータベースが掲載されています。



300種類以上と言われる餅



もちフェスティバル



一関市観光協会HP



日本一の餅つき大会(花泉)

【世嬉の一酒造株式会社】

蔵元レストランでは9種のもちだれとお雑煮がセットになった果報餅膳や餅フォンデュ等が楽しめます。昔ながらの儀礼、作法を学びながら餅本膳の食べ方を習う体験メニューも人気。相談役の佐藤暁僖氏は一関地域の餅食推進に関する関係者が集い、平成22年に設立されたもち食推進会議の会長。社長の佐藤航氏は餅フェスティバル（当時餅サミット）の初代実行委員長を務める等公私にわたって餅食文化の継承、発展に尽力しています。



蔵元レストラン



餅フォンデュ



社長 佐藤航氏

【大林製菓】

九十有余年続く国産もち米にこだわる『お餅屋さん』。粒餡よもぎ大福は、JAL国内線ファーストクラスの和デザートにも使用された逸品です。近年は、岩手県南技術研究センターとの共同開発により、つきたての柔らかい食感を長期間保つ技術を開発。新たなスイーツメニューの開発や、餅専門店でないお店での餅食提供に大きな貢献をしています。



餅入りスイーツ



社長 大林学氏

コロナが落ち着いたら一関の餅食文化を味わいに、ぜひ一関までお越し下さい。（一関市倫理法人会広報委員長 佐々木朋和）

紫波・矢巾準倫理法人会

学校法人
北日本高等学院
星北高等学園

住所：岩手県紫波郡矢巾町北矢幅 1-9-3
TEL：019-698-2782
<https://www.kitanihon-senshu.com/>



校長
田中 耕之助

今回ご紹介する達人は、学校法人北日本高等学院星北高等学園の田中耕之助校長です。この学校のスクールモットーは「明朗」「愛和」「信頼」で、校長室には、手作りの誓いの言葉を貼り、校長は毎週モーニングセミナーに出席し、岩泉副校長も可能な限り出席しています。

学校は、3年間で高校卒業資格が取得できる全日制高等専修学校です。勉強や運動が苦手、対人関係やコミュニケーションが苦手ということから不登校経験のある生徒や、発達特性またはその傾向のある生徒なども入学してきます。少人数クラスで余裕のある時間割、そして基礎からの学び直し。「解決志向教育」と呼ばれる教育法を取り入れた先生方・スタッフの全面的なサポートで、安心して学ぶことができます。



国語や数学などに加えて、社会に出てすぐに役立つ情報や商業、大学など進学希望者には進学課外、就職希望者などへは面接の指導も行っていて、毎月様々な社会性を育てる多彩な行事が企画されています。

SST（ソーシャルスキルトレーニング）は1・2年生が学校で仲間と楽しく生活し、自分の気持ちや考えをうまく表現する方法や協働する方法などを学びます。LST（ライフスキルトレーニング）は3年生の授業で、卒業後に自立して良好な人間関係を気付くためのコミュニケーションや対人関係の方法、日常生活や将来働く上でのマナーや必要な知識、スキルなどを学びます。

「解決志向教育」とは、望ましい未来や解決の姿をイメージし、成功体験や長所などに焦点を当て、なりたい未来の自分（ゴール）に自ら進んでいけるようサポートしていくものです。

『職場の教養』をキャリア教育の優れた教材として使っていて、『万人幸福の栞』には、教育にとっても大切なことが書かれているという校長の言葉が印象的でした。（紫波・矢巾準倫理法人会広報委員長 昆 浩司）



倫理の達人

「倫理の達人」コーナーでは毎号、各単会で活躍する事業所や人物を紹介します。どのように「倫理」と向き合って、日々の仕事の中でどう実践しているかを紹介いたします。

宮古市倫理法人会

宮古市倫理法人会
事務局

住所：岩手県宮古市新町 1-24
TEL：0193-71-2021
facebook： [宮古市倫理法人会](#)



事務局員
吉田 ひろみ

好きな17カ条は「運命は自ら招き、境遇は自らつくる」。こう話すのは宮古市倫理法人会事務局員の吉田ひろみさん。「過去を振り返ればまさにこの通り。自分がやった通りにしかならない。思っただけいっても何も実現しない」と語っていただきました。

吉田さんが倫理法人会に出会ったのは2016年に知人から事務局員をやってみないかと誘われたのがきっかけ。役員朝礼や規律正しく行うモーニングセミナーに参加し、すごいと感じながらも、以前警備会社に勤めており、団体行動を重んじる姿勢を意識していたので、「心をつくる準備」として、すんなり受け入れられました。普段心掛けているところは、「宮古市倫理法人会の窓口である」ということ。電話一本にしても、「私の印象一つで宮古市倫理法人会の印象が変わってしまうので、マイナス

の印象を与えてはいけなく常に考えています」と。また、「毎週のモーニングセミナーの案内はイラストを入れたり、自分の気持ちを吹き出しにしてみたり、来場者に対してウェルカム感を出すように心がけています」と。

倫理に出会って変わったことと言えば、自分が仕事や家庭のことで行動していくことに対して自信をもてるようになったこと。これまでは、仕事をしていても親の介護をしなければならない、地域のこともやらなければいけないとあれこれ考え込んでしまうこともありましたが、「境遇は自らつくっていくこと」と考えるようにしたら、頭を整理して考え行動できるようになったとのこと。

志高き吉田さんに支えられ、今後の発展が楽しみな宮古市倫理法人会です。（宮古市倫理法人会広報委員会委員長 伊藤 峻）



スポットライト

各単会の女性経営者の方にスポットを当て、経営と倫理に対する思い、そしてプライベートな関心事まで語ってもらいました。

二戸市倫理法人会

女性委員長

西川 光子

株式会社山金組
代表取締役



○どんなお仕事をしていますか？

弊社は土木、建築、重機リース、家屋解体、砕石販売、下水道などの事業を行っています。私で4代目の社長になります。旧安代地域の除雪や、道路維持、河川工事などがおもな仕事です。



○倫理法人会に入ったきっかけは？

会計事務所さんが巡回の時に『職場の教養』を毎月置いて行ってくれて、とても為になる本だと思っていました。ある研修で東京に行った際、同じ研修を受けていた方が『職場の教養』を持っていて、「その本はどうすれば手に入りますか？」と聞いたところ、「倫理法人会に入会すると毎月送られてきますよ」との答え。戻ってから会計事務所さんを通じ入会しました。

○職場でどんな風に倫理に取り組んでいますか？

倫理基礎講座やMSなどの講話の倫理体験から、学びや共感する事、積極的に前向きに考える事などパワーをもらっています。

100日実践に取り組み、自分を奮い立たせるきっかけになりました。100日続かない時もありますが今でも続いています。



○趣味や熱中していることは？

以前は読書が趣味でしたが、今はYouTubeやオーディオブックなどを聞きながら色々な作業をする事が多くなりました。特に「山本周五郎」の朗読がお気に入りです。最近では「アレクサ」で、天気や音楽などを楽しんでいます。これまでは調べものや何かを学ぶ事が大変でしたが、今のネット環境のある社会では、好きな事をいくらでも勉強することができて嬉しいです。

盛岡市倫理法人会

副事務長

松田 利奈子

株式会社クリエイト
取締役社長



○どんなお仕事をしていますか？

個別指導塾 明光義塾のFC加盟塾として、北海道、青森、岩手、宮城で17教室を運営し、その統括及び指導方針の徹底と社員教育を主にしています。4つの都道府県にまたがり運営をすることもあり、各エリアマネージャーや教室長とも密にコミュニケーションをとりながら仕事をすることに重きを置いています。



○倫理法人会に入ったきっかけは？

ご存じの方も多いと思いますが、㈱クリエイトは、岩手県倫理法人会又川俊三相談役が会長を務めるクラフトグループの中の1社で、私が入社した頃には既に倫理が会社の中で根付いていて朝礼や昼礼、合宿研修等を通してあたり前のように挨拶実習なども体得していったという実感です。ただ、最初の時はハイの実践などは応援歌練習だと思ってびっくりし思い出はあります。その頃から10年経って私も倫理法人会で役員を経験し本格的に携わることで、会社で行っていることの本質が分かってきたような気がします。

○職場でどんな風に倫理に取り組んでいますか？

現在、職場での昼礼は密を避ける観点からも、クラフトグループのグループ単位ではなく各職場毎に工夫して短縮した形で行っています。また、万人幸福の葉を使った社員研修も又川会長を指導者として学ぶ機会もあります。私も今倫理を勉強している中ですが、ゆくゆくは万人幸福の葉を使って社員に教えられるようになりたいと思っています。

○趣味や熱中していることは？

私の実家は遠野市にあるのですが、チェーンソーで木を切ってストーブ用の薪を組んだり、母と畑で野菜作りをするのが、もっぱら最近の週末の過ごし方です。体力が続く限りは続けていきたいと思っています。また、朝は一杯のコーヒーを飲むこと、夜はビールやワインを中心に晩酌を欠かさないことを毎日のルーティンとしています。



盛岡みなみ倫理法人会

創立20周年記念式典開催

盛岡みなみ倫理法人会の創立20周年記念式典は、3月18日(金)、盛岡市内のリサーチジュラヴィモアで開催されました。参加者はご来賓を含め41名。会より歴代会長に感謝状が贈られました。また、歴代会長の宮澤俊次県キャリア副委員長を講師に記念講演も行われました。時節柄、懇親会はありませんでしたが、節目にふさわしい達成感のある式典となりました。(文責・盛岡みなみ倫理法人会 事務長 阿部貴光)



岩手県倫理法人会「講演会」開催報告

『常識のボーダーを超える。』

株式会社ヘラルボニーの松田文登代表取締役副社長を講師にお迎えした、岩手県倫理法人会主催青年委員会事業の「講演会」が、3月24日(木)、盛岡のアイーナにおいて開催されました。コロナ禍で開催が心配されましたが、県内各地から126名(内、未会員36名)が参加されました。松田様には2時間にわたって、アートを通じての知的障害者支援と、ヘラルボニーの事業展開を詳しくお話いただきました。知的障害者に対する考え方、そして経営姿勢、とても勉強になるお話しでした。企画運営を担当された青年委員会の皆さま、大変ありがとうございました。(文責・岩手県倫理法人会広報委員長 菊池忠彦)

(株)ヘラルボニー
松田文登代表取締役副社長


講演
抜粋

「障害」は、
「違い」そして「個性」

日本全国にアートに特化した福祉施設は、実は200弱ぐらいあって、私たちは、その内の37の社会福祉法人さんとアートのライセンスの契約を結ばせてもらって、そのアートのデータっていうものを通じてさまざまな“もの”であったり、“こと”であったり、“場所”に落とし込んでいくということをしています。会社として大事にしているのは、障害ってしゃべった途端に「欠落」って連想するって人たちってまだまだたくさんいるんじゃないかと思っていて、そういうことじゃなくて、「障害」ってしゃべった時に、「違い」とか「個性」に脳が変換されていく、そんな未来のようなものをつくりたい。


講演
抜粋

ヘラルボニーという会社とミッション

ヘラルボニーは、4つ上の兄・翔太が、7才の頃にジャポニカ自由帳にたくさん書いていた謎のことば。それを会社名にしています。兄にヘラルボニーの意味を尋ねたが、「わかんない」という答えでした。障害のある人って、なかなか言語化するのが難しいとか、じつは楽しいと思っているけど伝えられないことってたくさんあると思う。そのことばみたいなものを言語化していける、本人の意思をありのままに伝えられる、ということを目指す会社でありたいという意味も込めて、「ヘラルボニー」という会社名にしました。会社のミッションは、「異彩を、放て。」。僕らは障害のある方たちをあえて「普通じゃない」と伝えています。ただ、「それは同時に可能性だと思う」という一文を加えています。障害のある方たちをあえて「異彩」と定義して、それを全国各地に放っていくことで、障害のある方たちのイメージとか概念とかが変わっていけばいいなと思っています。



女性委員会

『ランチセミナー』のご案内！

『初めて倫理にふれる』『朝は忙しい…』
『どんなことをやってるの？』

そんな“未来の会員さん”に、倫理法人会のモーニングセミナーを体験していただく目的で「ランチセミナー」を開催いたします。私たち女性委員会の『おもてなし力』を結集！！私たちを倫理法人会につないで下さった方への感謝を『大切な方へ』つなぐ時間でもあります。

令和4年度の委員会テーマは『やわらかにつながる・やわらかくつなげる』。6月24日はそのテーマを実践する日。皆さん応援よろしくお願ひいたします!!!（岩手県倫理法人会女性委員長 佐々木富士子）



1月の奥州市ランチセミナーの様子

ランチセミナー

日時：2022年6月24日（金）午前11時～午後2時
場所：矢巾町活動交流センター『やはばーく』3階大研修室
講師：佐藤和美さん（カズミヨガスタジオ代表）
テーマ：「岩手県宮古市から世界へ挑戦」
～ミセスコンテスト・アスリートの世界～
会費：2,000円



女性委員会の紹介

令和4年度は、県内13単会・29名の皆さんで活動しています。第1回の委員会では、委員の皆さんの「こうありたいと思う姿」をお聞かせいただき、単会を盛り上げようと活動する想い、真剣に倫理を学ぼうとするお姿に胸が熱くなりました。3月の第2回委員会では、半年間の単会委員会活動を振り返り共有。6月の委員会主催事業『ランチセミナー』に向けても話し合いました。また、そのランチセミナーの『本』となるモーニングセミナーの研修を鈴木幸江県モーニングセミナー委員長のお力をお借りして行いました。皆さん豊かな経験とフレッシュな視点を併せ持った素晴らしいメンバーです。彩り豊かにこれからもワクワクと活動して参ります。

ぶらり 寄りみち 散歩道

涼海（すすみ）の丘ワイナリー
（九戸郡野田村大字玉川 5-104-117）

山葡萄ワインのワイナリーと野田玉川
鉱山の坑道跡を見学できます

久慈市から45号線を宮古方面へ南下し隣の野田村へ。三陸鉄道 野田玉川駅付近を山手へ3分ほど走るとマリンローズパークへ到着です。「涼海の丘ワイナリー」は、そのパーク内にあります。



涼海の丘ワイナリー



瓶詰めされたワイン

所長の坂下氏は、2011年4月当時、民間のホテルから同村の国民宿舎えぼし荘に支配人として迎えられ、リニューアルオープンに向けて奮闘中でした。しかし、東日本大震災の影響で、宿舎は避難所として開設され、復興支援員やボランティアの宿としても使われました。その時「野田の山葡萄は美味しいね」の一言から、ソムリエ資格を持つ坂下氏に白羽の矢が。2年の準備期間を経て2016年にワイナリー会員800名を募り操業をスタートさせました。標高500mで栽培される山葡萄は、春から初夏に吹く冷たく湿った偏西風（やませ）によってじっくり育ち濃厚で糖度の高い果実になります。秋に収穫・仕込まれたワインは非加熱殺菌で生詰めされ、ミネラル感と野趣溢れる香りは高い評価を受けています。

所長曰く「山葡萄は酸味が強く昔から滋養強壮に良いと言われています。それに美味しさをプラスし、岩手の食材に合うワインを作りたい」とワインへ掛ける思いを熱く語り、4月からの新酒の「紫雲」（しずく）の販売に向けての瓶詰作業に戻って行きました。

山葡萄ワイン紫雲は、ロゼ・赤・樽熟成・限定品が有ります。

ワイナリーの見学とパーク内では、かつて日本有数のマンガン鉱山であった野田玉川鉱山の坑道も見ることが出来ます。（久慈市準倫理法人会専任幹事 佐藤仁昭）



山葡萄ワイン「紫雲」



様々な種類の山葡萄ワイン

『万人幸福の葉』



人は鏡、万象はわが師（万象我師）

人は人、自分は自分と、別々のいきものだと考えるところに、人の世のいろいろの不幸がぎざす。実は人はわが鏡である。自分の心を映す影像にすぎぬ。山彦のよべば答える、それにも譬えられる。にこにこして話しかけると、相手は笑みかけて答える。大声でどなれば、むっとしてにらみかえす。物売りが来る。イラナイヨと、つっけんどんに言うと、ピシャリと戸を引きしめて出て行く。

親子、夫婦、交友、隣人、すべてがわが鏡であって、わが心のままに変わって行く。

今日までは、相手の人を直そうとした。鏡に向かって、顔の墨をけすに、ガラスをふこうとしていたので、一こうにおちぬ。自分の顔をぬぐえばよい。人を改めさせよう、変えようとする前に、まず自ら改め、自分が変わればよい。

これをひろげていくと、人の世のすべては、自分の鏡であり、さらに草木も、鳥獣も、自然の動きも皆、わが鏡であることが判ってくる。作物も、家畜も、わが心の生活をかえれば、その通りに変わってゆく。

それだけではない。私をとりまく大自然は、ただわ

が鏡というそれだけではない。求めれば、何事でも教えてくれないものはない、無上のわが師である。

自然は真理の百科辞典、書籍はその牽引である。万象は真理の顕現であり、芸術の開花である。目を開いてこれを見、口をすすいでこれを味わい、心を空にしてこれに対するとき、興味津々、地上は喜びの楽土と変わってくる。

古人は言った、「万象是我師」と。まじめにこれに師事して尋ねる人には、正しく答えてくれる。昔の人は天を父、地を母とよんだ。父母はその子の求めには、何物をも惜しまず与える。与えられぬのは、ま心からこれを求めないからである。この求め方を教えるのは古の哲人であり、今の学者であり、これを伝えたのが書籍である。

だから書籍は、これを暗記していたところで、それはインデックスを覚えているに過ぎぬ。

学問は信じ過ぎるも愚であり、けいべつするも馬鹿である。

「太上は天を師とし、其次は人を師とし、其次は経を師とす。」（『言志録』）

倫理との出会いと今

北上市倫理法人会 事務長

菅原 かずみ



私の倫理との出会いは、美容室を創業した母が亡くなり3年ほど経つ頃、仕事でもお世話になった方からのお声がけでした。入会3年目頃、やっとモーニングセミナーに参加するようになり、朝起きが出来るようになりました。毎朝、トイレ掃除をします。父、母の位牌に向かい、お茶と水をあげ、般若心経を唱え、感謝の気持ちを伝えます。靴を揃えます。当たり前の事を今も増やしております。この小さな実践の積み重ねで、店のお客様は当たり前の方が来ているので、迎える私も当たり前でいたいと思うようになりました。

沢山の方の講話を聞き、人の話を聞く事を学びました。倫理法人会の役職を全うする事で、創業者の苦勞や、何かを成し遂げるチームワーク大切さに、気付く事が出来るようになってきました。自分に起きている家庭の事、仕事の事に全て繋がっていると、今は思っております。

初めて、単会の研修委員長を拝命した時、人前に出ることや先頭に立って行動することが苦手で、受け入れることが出来ず、人生で初めて知恵熱を出しました。倫理法人会での活動は失敗や間違いを受け入れ直すこと、そして自分を変える鍛錬の貴重な実践の場であると、今は思えるように変わりました。「今日一日、朗らかにやすらかに、喜んで進んで働きます」と言える毎日に感謝します。知恵熱を出したことも笑える思い出となった、今日この頃です。

ロシアのウクライナ侵攻は、まさか侵攻するはずがないだろうと思っていたが、実際侵攻し多くの民間人も巻き込んだ戦争になってしまった。ウクライナ国民は、自分達の国と自由そしてアイデンティティーを守るために武器を持ち戦い、ロシア軍人は良い悪いではなく、命令として武器を持ち民間施設や民間人を攻撃している。ロシア国民も経済制裁という戦争に巻き込まれ、苦難の道を歩まされている。なんと不幸なこ

とであろうか。けれど、実際に起こっており、1ヶ月以上も続いている現実がある。最悪の第三次世界大戦にならないことを祈り、一日も早い終結を祈る。それと同時に、「自由」と「平和」の大切さ、アイデンティティーの大切さを、私達も考える時なのだと思います。両国民に一日も早い平和を願う。

水沢市倫理法人会広報委員長 菊池 達哉